

ふるさと水辺の生き物教室



《泉地区の農業用水路の役割について》



泉小学校の西側には広見川から取った水が流れる水路があります。この水路は、下流の興野々（おきのの）地域の田んぼにつながっています。

みなさんが毎日食べているお米の栽培には、たくさん水が必要です。川から田んぼへ水を引く水路を農業用水路といいます。これがなければ、お米はできません。

農業用水路は、安定した食料を産み出すためのとても大事な施設なのです。



広見川からの取水口（興野々井堰）

【農業用水の多様な機能】

農業用水は、お米や野菜などの栽培に必要な水分を供給する、かんがい機能のほか、以下のような農業・農村の環境保全に関わる機能があります。

★地下水かんよう機能

水田にかん水された農業用水が、徐々に地下に浸透して地下水を貯えるほか、直接河川を流下するより長い時間をかけて下流の河川にもどされるため、再び下流域で利用することができる

★水質浄化機能

農業用水が水路を流下する際に、植物などへの汚濁物質の吸着や、水路への沈殿などにより水質が浄化される

★生物多様性の保全機能

水路は水田と河川をつなぐ水のネットワークの役割を果たしており、様々な生き物の生活史に応じた移動経路、生息の場として利用されている

★地域用水機能

農業用水が集落内を流れることにより、生活用水や防火用水などの地域用水としての利用を可能とするほか、親水空間の形成といった環境用水としての役割がある

このように、取水施設から用水路を経て、田んぼに至る農業用水は、いろいろな機能を持ち『人と自然とのつながり』をつくっています。古くから受け継がれてきた農業用水路や田んぼなどの農業用施設の保全に努め、農家の方とみなさんの協力で大切な農村環境を守っていきましょう。

※ 事故にご注意ください ※

河川や農業用水路などは、普段は安全に見えても、降雨時は一気に水量が増すことがあります。危険と書いているところには近づかないようにし、増水時の河川などへの立ち入りは十分注意してください。

